



役員就任のご挨拶



代表理事組合長
宮脇 幸喜

残暑の候、組合員の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃から農協事業に格別のご指導・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る六月二五日に開催されました第一九回通常総代会において理事に選任され、同日開催の第三回理事会において代表理事組合長に選任されました。

今回選任されたことで、代表理事としての責任の重さを感じているところです。今後とも組合員に寄り添った事業運営を行っていききたいと思いますので、皆様のご指導・ご支援を心からお願ひ申し上げます。

さて、近年の農業を取り巻く情勢は、肥料・飼料等の生産資材価格の高止まりや気候変動の影響に加え、農家の高齢化や人口減少に伴う労働力不足など、農

業経営はより一層厳しさを増し、生産現場に大きな影響を及ぼしております。また、令和六年五月には「食料・農業・農村基本法」が制定以来二五年ぶりに改正され、食料安全保障の確保を軸とした、農業生産性の向上、食料システムの確立、農村における地域社会の維持等が今後の中長期的な食料・農業・農村政策の方向性として示されました。今後は、基本理念の実現や食料・農業・農村振興に、地域や行政と連携しJAとしての役割を発揮していく必要があります。今年度は第七次中期三年計画の初年度でもあり、自己改革の基本目標でもある、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に総力を挙げて取り組むとともに、協同組合として事業と地域の持続可能な発展と農業経営体の持続可能な経営安定と生産基盤の維持を図って参りたいと思っております。

最後にJA種子屋久の経営理念にありまます組合員・地域住民に親しまれ信頼される地域密着型のJAの実現に向け役員一同取り組んで参りますので、ご支援とご協力をお願いいたします。就任のあいさつとさせていただきます。

種子島高等学校「安納いもバイオ苗引渡し式」



▲バイオ苗引渡しの様子



▲挨拶をする生物生産課の古賀さん

鹿児島県立種子島高等学校で7月8日、同校生物生産科植物バイオ班生徒が増殖した「安納いもバイオ苗」の引渡し式が行われました。

「安納いも」は種子島特産品のさつまいもで「種子島安納いも」として国の地理的表示（GI）保護制度に登録されており、その元となるバイオ苗を種子島高等学校の生物生産科生徒は毎年増殖し、島内1市2町とJA種子屋久へ提供しています。

種子島高校3年生の古賀悠樹さんは、「自分たちが培養した苗が現場で実際に活用され、安納いもの生産に貢献できることに嬉しさや誇りを感じる一方で、責任も感じている。秋まで予定量をしっかりと供給できるよう、これからも安納いもの生産を継続していきたい」と話しました。

